

発行/2014年10月20日
グリーンコープひろしま理事会
広島市安佐南区緑井1-28-47
TEL(082)831-1503 FAX(082)870-1800
web...http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/
組合員数 20,033人
出資金積立金総額 807,204,201円 (9/20現在)

2014年 グリーンコープ「共生・平和長崎自転車隊」に参加して 「生命が大事だということを発信していきたい。」

●日程:2014年8月8日(金)~8月9日(土) ●行程:福岡県柳川市から長崎爆心地 松山公園

台風11号の接近で、取り組みが中止されるかもしれないという心配がありました。よくよく検討された結果、途中走行を中断すること考えながら実施することになりました。ただし、この平和の取り組みは、「生命が大切」と確認する取り組みであること、「生命」を根幹に運動を展開しているグリーンコープの取り組みであることから、絶対に無理はしないと確認し、始めました。

今年度の自転車隊(幼児~大人、行程のうち55.4kmを走行)は68名、銀輪隊(中学生以上、全行程125kmを走行)は47名、合計115名。支えてくださるスタッフは各単協、共同体、ワーカーズから124名。この取り組みがどれだけの人の手と平和への想いで支えられているかを改めて感じました。

○8月8日(金)

3:30 起床。身支度を済ませ、ロビーに集合し、ワーカーズ手作りのおにぎりとおみそ汁をいただきました。

4:50 ホテルを出発。出発地点の柳川市民会館まで歩いて移動です。

5:40 出発の会。はじめのあいさつは、グリーンコープくまもとの北島専務でした。「集団的自衛権の行使容認は他人の喧嘩を買いに行くこと、殺し合いをするんだということ、日本が戦争をしようという方向に進んでいると感じる」と話されました。続いて、「無名舎 子どもの家」の代表 加藤さんからは子どもたちへのメッセージとして、生命を大切にすることを、優しい言葉で語られました。

6:00 銀輪隊が出発。応援隊の列の間を、拍手を受け元気に走り出します。自転車隊は11班編成。1班から順番に走り始めました。

1班は最年少の小1女児3名、大川橋までの8.2kmです。2班と3班は小2・小3。4班~6班は小4。7班~10班は小5・小6。11班は大人で編成されています。2班~11班は、1日目40.3kmを休憩をはさんで走行します。応援隊は全員を送り出したあと、バスに乗り込み、森林公園まで移動です。初日前半の行程はアップダウンはほとんどなく、森林公園までの約20kmをみんな軽やかに走行しました。途中、沿道で応援して下さる地域の方々や組合員のみなさんに会いました。対向車線を走る車から手を振って下さる方も。特に、ご年配の方々「不戦」のゼッケンをつけて走行する子どもたちに手を振ってくださっていました。

途中の休憩地点では、G C さがと、G C 長崎の組合員さんが冷たいお茶とスポーツドリンクを準備して待ってくださっていました。45ℓ ペールいっぱいのお水も用意しており、子どもたちは、タオルや手を冷やしてクールダウンしました。

昼食休憩後、銀輪隊出発。諫早に向かう大村湾沿いの景色がとてもいいところですが、上り坂がなだらかに続く初日最大の難所。自転車隊と応援隊はバスで移動し、途中の応援地点で銀輪隊を応援しました。「キツイなあ〜」と思う地点では、応援隊のお母さんたちの応援に励まれ、自分を奮い立たせます。諫早の休憩地点でも、G C さがとG C 長崎の組合員さんが冷たいお茶と産直びん牛乳、カフェミルクを準備して下さっていました。びん牛乳、格別においしかったです!

休憩後、自転車隊も初日の後半20kmの走行です。応援隊のみなさんが沿道に並び、大声援の中、銀輪隊・自転車隊が出発しました。

16:00過ぎ 1日目の終点、第一ホテルに到着。1日目の走行距離は、銀輪隊95.2km、自転車隊40.3km。

20分休憩後、まとめた集会を行い、今日の様子や台風の状況を共有した後「無名舎 子どもの家」が中心となって、祭り太鼓の披露やゲームを楽しみ全員で交流しました。



○8月9日(土)

早朝 雨は降っていないものの、時折、強風が吹いていました。身支度をすませ、朝食。

6:00 ホテルを出発。第一ホテルに集合。実行協議会より、長崎県が暴風域に入ったことを受け、日見峠の走行を中止すること。日見峠を越えた蜷茶屋から松山公園を目指し、走行することになりました。

9:00 銀輪隊と自転車隊が隊列を組んで、長崎市内を走行。長崎市内は祈りの日を迎え、平和行進をする団体や、平和公園・松山公園目指してバスで移動する団体も多かったです。

10:00すぎ 松山公園に到着。

10:30 グリーンコープ共同体組織委員会が中心となって「平和のつどい」開始。

平和へのアピールでは、ひろしまから参加した中学2年生の庄田さんが銀輪隊を代表してあいさつをしてくれました。「広島に生まれ、戦争や原爆投下を現実のこととして実感したのは、中学生になってからだった。それほど、戦争、原爆の悲惨さは受け入れがたいものだった。でも、この事実を受け入れがたいからといって自分に関係ないと思うのは間違っていると思う。」とアピールしました。「これからの日本をつくっていく自分たち若者には伝える使命がある。」と。この真つすぐな思いに大人はちゃんと向き合わないといけなく、改めて感じました。

自転車隊を代表して、「無名舎 子どもの家」小5のゆうきくんと、こうすけくんからも、「けんぼうをかえると平和じゃなくないと思います。」「ぼくは、ぜったい戦争をしません。なぜかという、戦争ではたくさんの方が死ぬからです。」とアピールしました。世界中のすべての大人に聞いてほしいアピールでした。

11:02 全員で黙祷。「青い空は」を合唱し、つどいは終了です。折鶴を持参された単協は原爆投下中心碑に納め、全員で長崎原爆資料館を見学しました。

台風の影響で銀輪隊・自転車隊共に全行程の走行は叶いませんでしたが、みんなで無事走り終えることができ、本当によかったと思いました。そして、この2日間の行程をふりかえり、自転車での走行はそれぞれきつい時があったけれど、一人で走っているのではない、仲間と一緒にだから頑張れたことと、応援隊のみなさんの励ましがあったから、走り切れたと感じます。

自転車は季節や風など、自然を感じることもできます。普段、車を運転していると、もしかすると見過ごしてしまう風景を発見したり、風が心地よかったです。今回、台風がどうなるだろうかと心配もしました。自然の脅威にさらされながらも、自然の恩恵を受けて生きていることも感じました。

なにより、今、平和だから自転車をこげていると思いました。集団的自衛権の行使容認で、多くの方々が日本は戦争をする準備に進もうとしていると捉えています。69年間戦争をしなかった日本から、戦争の悲惨さと生命が大事だということを、発信していきたいと思いました。

(理事長 熊野)





○庄田実優さん(中2)/西支部

125キロ全てを走ることができなかったのは悔しいですが、「不戦」のゼッケンの重みを感じて、全力で走れました。走ってる時や、休憩の時にたくさんの人が「がんばれー!」と応援してくれてとてもうれしかったです。また、同じ年の人と同じ班だったので、話しやすくてとても仲良くなりました。初対面でもこんなに仲良くなれるんだなと感動しました。この経験を大切にしたいです。銀輪隊を企画、運営してくださった方々、本当にありがとうございました。またぜひ参加したいと思います。

○庄田ひろみさん(保護者)/西支部

広島に住んでいるという事で、子どもは学校で度ある事に平和学習で、戦争についての話などに触れる機会はあります。しかし、実際に自分から行動することはありませんでした。何かしら一個人から出来る事はないかと思っていました。今回参加させて頂いて、子どもにとってもその第一歩になったと思います。走り終えたこれからも、今回感じた気持ちを忘れず、平和な世界の実現の力になれる大人になってほしいと、強く感じた2日間でした。最後に、グリーンコープさが・ふくおか・長崎、各地のスタッフの皆様が沢山見守って下さり、ソフト、ハード面ともに大変お世話になりました。サポートして下さる皆様の想いで、この取り組みがこれまで続けられているのだな、と分かりました。ありがとうございました。



○伊藤 駿くん(中1)/中央支部

僕は広島に生まれ、これまでも8月6日前後には平和を祈るいろんなイベントに参加してきました。しかし平和の意味についてはあまり考えた事がありませんでした。今回、銀輪隊の一員として仲間と走りきることができました。これは、スタッフや応援隊の方々の支えがあったからこそだと思います。平和であるということは、戦後多くの人々の努力によって築かれてきたのだと考えます。それを僕たちが守っていけるように、平和について学んでいきます。

○伊藤洋子さん(保護者)/中央支部

この度は、平和長崎銀輪隊に参加させて頂き、本当にありがとうございました。この貴重な経験を通して、一回りも二回りも成長してくれたと感じます。最近読んだ本に「子どもは、大人の安全基地で安心安全を補給しながら、新たに自分で身につけた力を使い、新たな世界を展開していくことにより、成長するものである。」と書かれてあり、「なるほどなあ」と思いつつ、時間的にも気持的にも余裕のない中で、子どもの主体性を十分に尊重できない毎日を過ごしていました。今回の経験を機に、親としても少しずつ成長していきたいと思います。



2014年 7月26日(土)～28日(月)

ピョンファ・エ・ダリ(平和の橋) 韓国への旅

○グリーンコープでは、平和の取り組みの一環として、日韓の歴史を認識し未来に向けて市民が連帯することを目的に、「ピョンファ・エ・ダリ(平和の橋) 韓国への旅」を行なっています。

私は、この旅の中で主に韓国の日本による植民地時代について学びました。

1910年、韓国併合があり、韓国は植民地となりました。この時日本から独立を求めて起こったのが、1919年三・一独立運動です。この運動によって日本軍に捕らえられた人々が収容されたのが「西大門刑務所」です。現在は当時の建物が遺され、歴史館となっています。この刑務所に収容された人々の写真が5千人分展示されています。独立運動の中心が学生だったことから10代のあどけない写真もあちらこちらに見られました。韓国のジャンヌダルクと呼ばれた少女ユ・カンソンは16歳で投獄され、1年ほどで獄死しています。厳しい環境の中で、元気に出所できた人はほとんどいなかったそうです。

「日本軍慰安婦歴史館」を見学し、元慰安婦の方が共同生活されている「ナナムの家」も訪問しました。戦時下では国際条約により日本軍が外国人を慰安婦とすると違反となりますが、植民地の女性を対象とならないため韓国女性が多く慰安婦として集められました。そして兵士が派遣されるところに慰安所が作られ、送られていきました。中国とロシアの国境近くから東南アジアの国々まで広がり、今でも慰安所跡が残っています。戦時中は慰安婦としての過酷な生活を送りましたが、戦後も苦しい生活を強いられました。8月15日の終戦を迎えると、慰安婦たちは置き去りにされてしまいました。食べるものも生きる術もない慰安婦たちは、祖国へ帰ることもままならず、1997年にカンボジアで発見されたという例もあります。

植民地時代に何があったのか、私には今まで知る機会が少なすぎました。戦争は戦闘や、爆撃だけでなく、そこに関わるあらゆるものに犠牲を強いてきたのだと強く感じました。私自身も私の息子も娘も、加害者にも被害者にもなりたくないから、不戦を訴えていきたいと思っています。

(理事会 井上)



「西大門刑務所歴史館」

独立運動した人々が主に捕らえられた。最大3千人収容された。女性棟、拷問室、処刑棟、拷問や処刑で亡くなった人を運び出す秘密のトンネルなどがあった。



「日本軍慰安婦歴史館の中庭」

元慰安婦の方の銅像。中央の少女の像の地下には慰安所を再現した部屋がある。少女は元慰安婦の方の若い頃を表し、悲しい思い出は地下に埋めて人生に花を咲かせたという思いが込められている。

●広島平和記念資料館見学・碑めぐりをしました。

7月14日、グリーンコープひろしま理事会で、広島平和記念資料館の見学と碑めぐりに行きました。私自身、広島平和資料館の見学は3度目ですが、ピースボランティアの方に案内していただいたのは初めてでした。

私の祖父は、入市被爆者(原爆投下後、救援活動や肉親捜し等で、被爆地(概ね2km圏内)に2週間以内に入った人のこと)で、原爆投下の翌日、救助活動のため広島に入り、焼け野原となった広島に呆然としたそうです。小学生の頃、祖父からその時の話を聞いたことがあるのですが、ただ漠然と「原爆は怖い」という思いが残っていました。

今回、ピースボランティアの方のお話を聞いて、改めて原子爆弾そして戦争は、あってはならないものだとし強く思いました。碑めぐりでは、「平和の鐘」に刻まれた、世界地図に、国境を示す線が描かれていないことに、深い感銘を受けました。

世界では、今も核を持つ国があります。核戦争や核実験はもちろん行われてはいけけないもので、たとえ威嚇のためであっても、核は決して作られるべきものではありません。平和の鐘の世界地図のように、世界中の国が人が手を取り取り合うこと、世界中の子どもたちが幸せになることは、すべての母親の願いです。いつの日か、世界の国が争うことなく手を取り合い、核の炎が消えることを願います。

そして、被爆者の高齢化とともに、時間の経過とともに、原爆のことが風化されてしまうことのないよう、平和への想い、祈りを、ひとりの母親として未来の子どもたちに伝え続けていきたいと思いました。

(理事会 吉崎)

遺伝子組み換え学習会「もっと知りたい遺伝子組み換え作物のこと」
～イデシクミカエってなあに?～

9月11日(木)東区民文化センターにて、「食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク(食農市民ネット)」共同代表の河田昌東さんをお迎えし、学習会を開催しました。

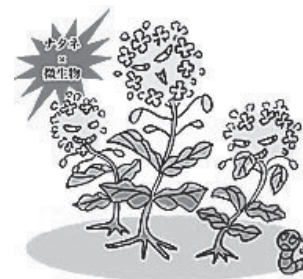
「収穫量を増やし食料需要をまかなう」「農薬使用を減らし環境への負荷を軽減する」「省力化し大量生産する」などを目的に進められた遺伝子組み換え技術。除草剤を撒いても枯れない作物、虫が食べると死んでしまう作物などが開発・栽培されていますが、収穫量は増えず、農薬の使用量は増え、食べても死なない虫が出現するなど、期待どおりの成果は得られていないようです。

その上、健康や環境に与える影響は大きく、問題点が多いとされています。日本では、油の原料として輸入されている遺伝子組み換えナタネの輸入港周辺や、幹線道路での自生が問題となっています。ナタネはアブラナ科の植物で、同じアブラナ科の植物との交雑が懸念されます。(広島菜もアブラナ科です)

学会で「Nature(自然) Culture(文化) Future(未来)を守れないなら、遺伝子組み換え技術は取り入れるべきではない」と聞き、その後その言葉を大切に活動されているという話もお聞きし、遺伝子組み換え技術の危険性を改めて感じる事ができました。

この学習会で学んだことを、多くの組合員さんにお伝えしていきたいと思っています。

(くらし委員 大窪)

広島
土砂災害

被災地ボランティアの方へ、炊き出し支援をしました。

広島土砂災害から1ヶ月が経った9月20日、理事会メンバーで、被災地のボランティア活動をされている「広島たすけ隊」の拠点での炊き出しをさせていただきました。

当日は80名くらいのボランティアの方々がお昼休憩に戻ってこられました。日中はまだまだ気温が高く、土砂の撤去や運搬などの作業で、体力を奪われる時期です。冷たくのどごしのいいものが喜んでもらえるのでは?と思い、冷やしぶっかけうどん、冷や奴、おにぎり、果物(梨、りんご)、お茶、フルーツポンチを準備しました。

みなさんから「わぁ、うんだ!」「嬉しい!!」「美味しかった。しあわせ。」「おかわりもらっていいですか?」など、たくさんの声をかけていただきました。グリーンコープ自慢のお豆腐も大好評でした。

被災地ではまだ土砂の撤去などの作業が重要で、私たちの活動は小さなものかもしれませんが、でも、ボランティアのみなさんからとても喜んでもらえて、少しでも力になれたことを実感しました。

(理事長 熊野)



8月20日(水)
熊本県
肥後七草会

みかん産地の視察・交流会に参加しました!



2014年8月20日(水)みかん産地の視察・交流会に参加しました。前日の大雨で視察ができるだろうかと不安でしたが、当日は雨も上がり、熊本県宇城市松橋町の「肥後七草会」川田さんのみかん園を視察することができました。傾斜の土地一面に早生みかん、不知火などが植えられていました。木いっぱい実ったみかんはまだ硬く青いものでしたが、試食させてもらいました。まだ酸っぱかったけれど、とてもジューシーで美味しかったです。今年は8月の長雨で糖度を心配されていましたが、9月に晴天が続けばとても美味しいみかんになるだろうと、生産者の方が話されていました。直接畑を視察することで、たくさん生えている草を除草剤を使わず刈ったり、摘果作業も一つ一つの手で行なっているという苦労が本当によく分かりました。畑ですぐ試食できるのも、農薬を極力使わないグリーンコープのみかんだからこです。生産者が一生懸命作られた「みかん」を今年もぜひ利用してくださいね。

(西支部理事長 伊東)



書き損じはがきについて

書き損じハガキなどの回収を行います!

国境を越えたパキスタンの子育て支援を目的に、2010年秋にスタートしたグリーンコープのファイバーリサイクル。これまで、多くの方にご協力いただきました。ありがとうございます。

みなさんのご協力により・国境を越えた子育て支援
・衣類のリユース、リサイクル
・生活困窮者の就労支援 を進めています。

今回は、受付品の中で品目を絞っての回収を行います。
ご協力をよろしくお願いします。

☆回収品 書き損じハガキ、未使用ハガキ、未使用切手、
テレフォンカード、プリペイドカード
(テレフォンカード、プリペイドカードについては、一度も使用していないものに限りです。)

☆回収期間

2015年2月2日(月)～2月28日(土)

☆回収方法

お手持ちの封筒(古封筒でOK)に入れて配送時、または各支部キープ & ショップ「ぐりんまま」(中央支部)「ほっとーむくるグリ」(東広島支部)「げんキープ」(福山支部)で回収を行います。
西支部は1階のキープ受け取り場所で回収します。

詳しくは、12月8日週発行の「地域福祉全体会ニュース ひまわり」をご覧ください。書き損じた年賀状も、とっておいてくださいね!

(地域福祉委員長 反岡)

10月

- 29日(水) 西支部東部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(げんきくんひろば)
- 30日(木) 福山支部理事会「吉村春生さん福祉講演会」(ローズコム)
- 30日(木) 中央支部中部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(祇園公民館)
- 30日(木) ゆめはっぴ「子ども料理教室」(東広島支部)
- 31日(金) 東広島支部理事会「女性の心と身体にやさしいおはなし(福祉講演会)」(安芸区民文化センター)

11月

- 6日(木) 中央支部くらし委員会「せっけんカフェ」(中央支部)
- 11日(火) 西支部地域福祉委員会「損害保険の基礎講座」(串戸市民センター)
- 11日(火) 中央支部理事会「コンプ工場 ヒロコンフーズ見学」
- 11日(火) 東広島支部南部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(阿賀まちづくりセンター)
- 11日(火) ゆめはっぴ「子ども料理教室」(中央支部)
- 12日(水) 東広島支部理事会「Welcomeカフェ」(下見福祉会館)
- 13日(木) 福山支部理事会「やまびこ会れんこん料理教室」(西部市民センター)
- 13日(木) 西支部理事会「レモン産地見学会」(JA三原農協)
- 13日(木) 東広島支部西部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(安芸区民文化センター)
- 19日(水) 中央支部理事会「エンディングノート学習会」(安佐南区民文化センター)
- 19日(水) 東広島支部理事会「キープ&ショップくろグリ2周年まつり」(東広島支部)
- 20日(木) 西支部西部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(あいプラザ)
- 21日(金) 福山支部理事会「Welcomeカフェ」(福山支部)
- 26日(水) 東広島支部くらし委員会「せっけんカフェ」(昭和まちづくりセンター)
- 27日(木) 福山支部おすすめ委員会「食品添加物学習会」(福山支部)
- 28日(金) 中央支部東部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(牛田公民館)

12月

- 2日(火) ゆめはっぴ「子ども料理教室」(あいプラザ)
- 4日(木) 中央支部理事会「キャンドル作り」(牛田公民館)
- 4日(木) 福山支部「パラマウント靴販売会」(福山支部)
- 5日(金) 西支部中部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(五日市公民館)
- 8日(月) 福山支部「ライフプラン講座」(福山支部)
- 10日(水) 中央支部「彩生舎化粧品学習会」(中央支部)
- 11日(木) 西支部理事会「Welcomeカフェ」(げんきくんひろば)

※詳しくは、配送チラシをご覧ください。

行事予定



☆ふくし情報でんわ☆

「用品の選び方や使い方」「子育てや介護保険の情報」などで「困ったな?」と思った時はお気軽にお電話ください!

グリーンコープの「ふくし情報でんわ」を統合します。

11月1日から、グリーンコープひろしまの「ふくし情報でんわ」は、
グリーンコープふくおか(福岡県北九州市)で受付させていただきます。

電話番号(フリーダイヤル)に変更はありません。これからも、ご利用お待ちしております。



フリー
ダイヤル
(FAX兼用)

いいはなしに
0120-118742

開設:月～金
10:30～15:30
(土・日・祝祭日休み)